

① 図書館評価

図書館評価（平成22年度）

さいたま市の図書館では、平成13年に施行された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」及び、平成20年に改正された「図書館法」に基づき、さいたま市の図書館の運営状況について自己評価を行っています。平成21年度から図書館評価の検討をはじめ、平成22年度は、平成21年度の実績について試行の評価を行いました。

平成23年度に行った、平成22年度の評価は次のとおりです。

1 評価の目的

- (1) 図書館の運営方針や各年度の目標を達成するため、取り組み内容が適正に実施されているか検証します。
- (2) 図書館事業の評価結果を公表することによって、市民の皆さんへの説明責任を果たします。
- (3) 図書館の運営方針に沿って事業を計画し、事業を実施し、評価を行い、評価結果を次年度の事業に反映させるマネジメントサイクルを確立し、図書館サービスの向上をはかります。

2 評価の方法

(1) 平成22年度の4つの運営方針

- 生涯学習を支援する図書館をめざします
- 市民生活に役立つ図書館をめざします
- 市民とともに歩む図書館をめざします
- 誰もが安心して使える図書館をめざします

に沿って設定した13のサービス目標について、目標ごとに取り組み内容を決定しました。

(2) 評価の指標を設定

実績をまとめた統計数値や実施状況を指標としています。

↓

(2) 指標の目標値を設定

あらかじめ、達成の目標値を定めました。

↓

- (3) 評価 = 22年度の実績により4段階で評価しました。経験のある職員による協議のほか、図書館協議会に提示し、意見をいただきました。次ページに概要をまとめました。

評価の詳細については、さいたま市図書館ホームページに掲載しています。

http://www.lib.city.saitama.jp/guide/plan_report/pdf/evaluationH22.pdf

② 22年度図書館評価一覧

平成22年度図書館評価一覧

目 標		評価	指 標
生涯学習を支援する図書館	1	図書館利用の普及	B 実利用登録率=D 貸出総数=A 来館者数=A 記者発表件数=A
	2	あらゆる世代に向けたサービスの充実	B 子ども向け行事開催数、参加者数=B ビジネス関連行事開催数、参加者数=C
	3	バリアフリーサービス	A 音訳資料貸出数=A、対面朗読回数、時間数=A 点訳資料作成数=評価せず、点訳資料貸出数=B 手話字幕入り資料の受入れ数=評価せず 宅配サービスの実施=評価せず
	4	学校図書館との連携	A 教科関連資料貸出数=A 大型団体貸出数=A 学校訪問・招待の実施回数、参加人数=A 職場体験の受入件数=A
	5	文化事業の開催	B 講座等の実施回数、参加人数=A 映画会開催回数、参加人数=C 展示会の開催数=B
生活に役立つ図書館	6	情報通信機器を活用したサービスの充実	B メールレファレンス受付件数=D ホームページアクセス数=評価せず インターネット利用人数=A 市民向け調べ方講習会開催数=評価せず
	7	幅広く計画的な資料の収集と除籍資料の有効活用	B 資料購入点数=C、見計らい回数=B 資料回転率=A、寄贈資料受入点数=B 除籍資料点数=評価せず 資料リサイクル数(比率)=評価せず
	8	レファレンスサービス(調べもの相談)の充実	B レファレンス受付件数=B データベース利用回数=C レファレンス事例の公開=A パスファインダー作成=B 職員レファレンス研修の開催=B
市民とともに歩む図書館	9	市民意見の反映	B アンケートによる満足度調査=B
	10	関連機関との連携	A 連携事業実施機関数、延実施回数、参加人数=A 相互貸借件数(県内のみ)=A
	11	関係団体との協働	B ボランティア人数=B ボランティアとの協働事業数、延実施回数=B ボランティア団体数=A ブックスタート参加人数=B
誰もが安心して使える図書館	12	施設・設備の充実	A 昭和56年以前開館の図書館の耐震診断=A
	13	図書館の整備	A 武蔵浦和駅第1区第一種市街地再開発B1ブロック公共施設棟保留床取得(用地費)=A 武蔵浦和図書館資料整備点数=A

評価基準

A—達成した B—ほぼ達成した C—あまり達成できなかった D—達成できなかった